

やさしさが、まちをつくる 笑顔あふれる福祉+プラスのまちづくり

やさしいまちって、どんなまちだろう？

それはきっと、障がいのある人もない人も、
大人も子どもも、誰もが明るく幸せに
生きるまちではないでしょうか。

笑うこと、楽しむことに境目なんかないはず。
肩の力を抜いて、みんなで一緒に笑顔になる。

それが、草加市が掲げる
福祉+プラスのまちづくりです。



福祉+プラスのまちづくりを進める ふくらむフクシ研究所ってなんだ？

ふくらむフクシ研究所（略してふくフク研）は、障がいのある人もない人も、みんなが幸せになれるまちづくりを目指して、民間と行政、支援する側とされる側という垣根を越えて誕生したプロジェクトです。一方通行ではない対話的な関係づくりをモットーに、様々な活動を通してたくさんの人を笑顔にしています。

どんなことをしているの？

研究

ヒアリングや視察をしながら、福祉の様々な事例を学ぶ

活動

イベントやワークショップ等、実験的な動きをつくる

ふくフク研に関わる研究員をちょっぴり紹介します！



ひらた るみ
平田 瑠美 さん
理学療法士
コミュニティナース

高年者や障がいのある人の訪問看護を行いながら、ふくフク研に参加している。孤立していたり、満たされない思いをしている人のそばに寄り添い、少しでも日常を幸せにするのがフクシの役割だと語る。



うるま ゆみこ
閻間 由実子 さん
冒険あそび場ネットワーク草加事務局

昔からフクシに興味があり、友人の勧めでふくフク研に参加するようになる。様々な悩みを抱えて生きている人が多い中で、どうすれば相手に寄り添い、伴走できるかを日々模索している。

興味がある人はこちらをcheck！

📖 コンセプトブック

ふくフク研のワークショップで製作された、これまでの活動等をまとめた冊子。



詳細は市HPで



📱 公式SNS

最新のイベント情報や申込みはこちらから。

▼Facebook



▼Instagram



*文中の見出しに使用している1～5のロゴは、障がい者・児 通所支援事業所「あある」のメンバーがデザインしたものです。